

【プロフィール】



鶴田 清也(つるた せいや)

立命館大学大学院理工学研究科博士課程後期課程 D3

立命館大学衣笠総合研究機構 リサーチ・アシスタント

1977 年愛知県生。情報工学(主に仮想現実感技術)。工学修士。

コンピュータグラフィックスによるキャラクタアニメーションやバーチャルリアリティ(仮想現実感)に関する研究に従事。現在、モーションキャプチャシステムを用いたバーチャルアバタとのインタラクションに関する研究を行っている。

最近の論文に「バーチャルダンスコラボレーションシステムのための実時間動作認識」(共著、「映像情報メディア学会誌」 Vol.62、No.6、2008)、国際学会での発表に「Real-Time Recognition of Body Motion for Virtual Dance Collaboration System」(共同発表、17th International Conference on Artificial Reality and Telexistence (ICAT 2007)、November, 2007.)がある。

【発表要旨】

「バーチャルダンスコラボレーションシステムのための音楽からの感性情報抽出」

Extraction of emotional information from music for Virtual Dance Collaboration System

我々はライブダンサーとバーチャルダンサーがダンスコラボレーションを行うことのできるシステムを提案している。現在までに提案したシステムでは、ライブダンサーは音楽に合わせてダンスを踊るが、バーチャルダンサーはデータベース中の動作クリップから動作を選び出している。しかし、ダンス動作は音楽から大きな影響を受けるため、コラボレーション中に音楽が変化した場合、バーチャルダンサーの動作もそれに伴って変化する必要がある。

本研究では、音楽から感性情報を抽出し、その感性の変化に伴いバーチャルダンサーの動作を再構築することを目指す。